

Medical Management Specialist MMS ニュース

2015 12月号

発行/一般社団法人 日本医療経営実践協会 (JMMPA) 〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル7F 編集/日本医療企画 毎月1回発行

お問い合わせ先 一般社団法人 日本医療経営実践協会 事務局 TEL.03-5296-1933 FAX.03-5296-1934 http://www.JMMPA.jp/

医療経営士に向けて、内外の関係者・有識者から多くの期待を込めたメッセージが贈られた!



開会の挨拶を行った小林利彦代表理事代行 石川県知事からの祝辞が読み上げられた 大会運営委員長を務めた神野正博 北陸支部長 基調講演を飾った西村周三氏 特別講演を行った佐々木昌弘氏

第4回「全国医療経営士実践研究大会」金沢大会開催!

「地方創生」の時代に求められる

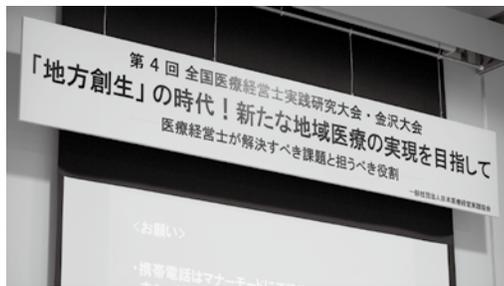
医療経営士の新たな使命と役割を指し示す

一般社団法人日本医療経営実践協会は10月31日(土)、11月1日(日)の両日、石川県地域産業振興センター(金沢市)で、第4回「全国医療経営士実践研究大会」金沢大会を開催した。テーマは「地方創生」の時代! 新たな地域医療の実現を目指して—医療経営士が解決すべき課題と担うべき役割。今大会はこれまでで最多となる18人の医療経営士が演題発表に登壇。2日間で延べ400人が参加し、大きな盛り上がりを見せた。

地域貢献を行うためには、地域を知り、地域に出て行くことが大切

開会にあたり、最初に当協会の小林利彦代表理事代行が、「今大会のプログラムの中心は、新しい地域医療の実現。今大会での議論が、日本の医療のシステムに影響するようなものになることを願っている」と挨拶を行った。

次に、谷本正憲石川県知事から寄せられた「医療経営に携わる皆様」が地方創生の時代というテーマのもと一堂に会する大会は今後のわ



「地方創生」をキーワードに、地域医療は新たなステージへ

「地方創生」をキーワードに、地域医療は新たなステージへ。経済研究機構所長の西村周三氏が、「地方創生の推進に向けて、我々は何をすべきなのか—新たな地域医療・介護の実現を目指して」をテーマに、コンパクトシティの実現に取り組む富山市などの先進事例を交えて解説。「アウトリーチ」をこれからのキーワードに挙げ、

「医療モデルから生活モデルへの転換が迫られています。医療経営士は地域を知り、地域に出ていくことが求められています」と呼びかけた。

特別講演「地域医療構想(ビジョン)の策定から見えるわが国の将来像」では、前・厚生労働省医政局地域医療計画課・医師確保等

第5回 全国医療経営士実践研究大会 名古屋大会 開催決定!!

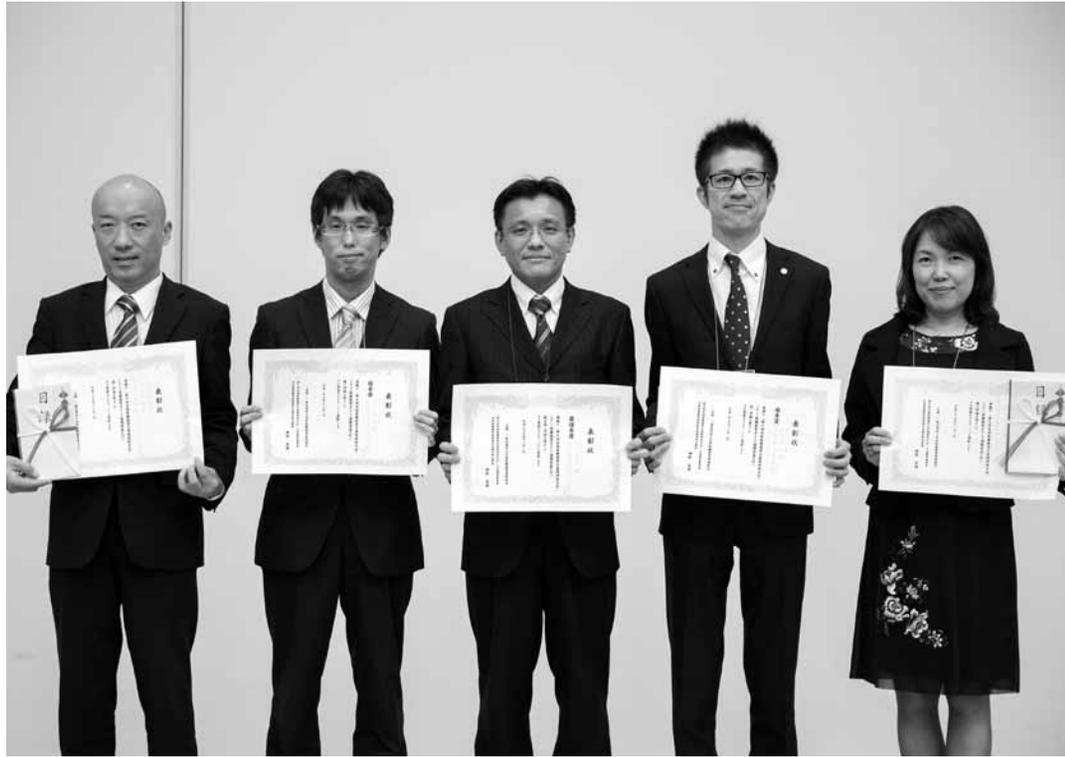
2016年 10月29日(土) 10月30日(日)

求む! 医療経営士による演題発表 医療経営士による日ごろの実践の成果を発表する場です。多くの医療経営士のチャレンジをお待ちしています。

会場 ウィンクあいち (愛知県産業労働センター) 名古屋市千代田区名駅4丁目4-38 ※JR名古屋駅徒歩5分 大会運営委員長 井手 宏 日本医療経営実践協会東海支部支部長 一般社団法人愛知県医療法人協会会長 医療法人財団愛泉会愛知国際病院理事長



例年に倍する18人もの演題発表者が登壇。ハイレベルなプレゼンテーションに審査結果も僅差となり、全国大会における「主役」としての存在感を示した



受賞者一同。左より古賀利孝さん、西田智之さん、高玉敬洋さん、山田竜也さん、秋吉裕美さん

**演題発表者と会場が一体となって
活発な質疑応答・意見交換を行う**

医療経営士18人による演題発表では、東京医科歯科大学大学院教授の川渕孝一氏を審査委員長に、体調不良により欠席された中国支部を除く各支部の支部長（北陸支部のみ副支部長）6人が審査委員となり、7人の合計点数で審査が行われた。川渕審査委員長は「今回は18もの演題が集まった。名実ともに医療経営士が主役という自覚を持ち頑張った。いい」とエールを送った。

2日間にわたり全発表者がハイレベルなプレゼンテーションを展開。最優秀賞には、「CO（ローコストオペレーション）による意識改革と収支改善」と題して発表したJANA北海道厚生連帯広厚生病院事務部長次長（病院整備担当）兼施設課長事務取扱の高玉敬洋氏が選ばれた。優秀賞は、「事務総合職が取り組む、院内連携強化の第一ステージ」を発表した特定医療法人社団勝木会やわたメディアカールセンター診療部サポート室主任の山田竜也氏と、「地域連携と広報

効果／顔の見える病院をめざして」を発表した医療法人社団浅ノ川浅ノ川総合病院地域医療連携室主任の西田智之氏の2人が受賞。加えて、今大会において特別に設けられた北陸支部長賞には、白山石川医療企業団公立松任石川中央病院経営管理課長の古賀利孝氏と、社会医療法人製鉄記念八幡病院経営管理部長菅企画課係長の秋吉裕美氏が選出された。

今大会の特徴の一つとして、18人をカテゴリーに基づき3つのセッションに分け、セッションごとにディスカッション・質疑応答の時間を設けたことが挙げられる。いずれのセッションにおいても審査委員長の巧みな司会を呼び水に、会場から多数の質問・意見が集まり、会場全体が一体となって盛り上がった。

続いて、神野正博北陸支部長がホストを務め、ゲストに高橋泰国際医療福祉大学大学院教授を迎えた特別対談「東京圏の医療・介護不足を支える地方創生戦略——移住したくなる地方のビジョンとミッ

セッション」が行われた。地方移住に向けた受け入れ側の整備について高橋氏は、「高齢者に必要なのは『キョウヨウ』（今日の用事）と『キョウイク』（今日行くところ）。年をとっても街中を歩きまわって住める街づくりが重要」と強調。神野氏は「コミュニケーションに溶け込む努力など、移住する側にも覚悟が必要」と指摘し、「こうした地方創生戦略に医療関係者がどれだけ関わっているか、きちんと認識を持たなければならぬ」と締めくくった。

最後に、次回大会の大会運営委員長を務める井手宏東海支部長が閉会挨拶。「来年は名古屋に集っていただき、健全な医療経営を行うための取り組みについて話を聞けることを願っています」と会場に呼びかけ、大会は盛況裡に幕を閉じた。



神野正博北陸支部長と特別対談を行った高橋泰氏



講評を行う川渕孝一審査委員長



大会を締めくくった井手宏東海支部長

最後に、次回大会の大会運営委員長を務める井手宏東海支部長が閉会挨拶。「来年は名古屋に集っていただき、健全な医療経営を行うための取り組みについて話を聞けることを願っています」と会場に呼びかけ、大会は盛況裡に幕を閉じた。



今大会から導入された合同形式による質疑応答



会場からは熱心な質問が相次いだ

「石井ゼミin関東」第2弾の開催が決定! イノベーションを起こせる人材になるための **石井ゼミ** 「保健医療2035」を読み解く

●日時・テーマ ※全日程14:00~17:00

2015年12月12日(土)	・「保健医療2035」を読み解く① ・課題解決とロジカルシンキング
2016年1月16日(土)	・「保健医療2035」を読み解く② ・課題抽出と改善のためのデータ活用
2016年2月20日(土)	・「保健医療2035」を読み解く③ ・価値を産み出すマーケティングとブランディング
2016年3月5日(土)	・「保健医療2035」を読み解く④ ・実行力を高めるコミュニケーション力とプロジェクトマネジメント

講師 石井 富美氏
(多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー)

受講料 医療経営士会員: 10,000円
(税込・全4回) ※各回参加: 3,000円
一般: 15,000円
(税込・全4回) ※各回参加: 4,000円

会場 日本医療企画
もみやセミナールーム
(東京都千代田区)



Interview インタビュー

日本医療経営実践協会理事に聞く

加納繁照

日本医療法人協会会長
社会医療法人協和会理事長

日本医療経営実践協会の役員は、吉原健二代表理事を筆頭に、小林利彦代表理事代行ほか、病院理事長、学識経験者、医療関連企業など幅広い分野の全18名で構成されている。本年10月に新たに本協会の理事にご就任いただいた加納繁照氏に、病院経営を取り巻く現状と医療経営士に対する期待についてお話をうかがった。

山積する課題解決に向けて、医療経営士の力が不可欠

このたび、当協会の理事を引き受けさせていただくことになりました。皆様、よろしくお願いたします。

わが国は人口減少社会に突入しており、病院経営を取り巻く環境はより一層厳しさを増しています。今後、東京都や神奈川県、大阪府といった大都市では



かのう・しげあき

順天堂大学医学部卒業後、京都大学医学部附属病院、神戸海星病院、大阪赤十字病院、大阪大学医学部附属病院に勤務。1990年2月、大阪大学医学部医学博士号取得、同年4月に特定医療法人協和会副理事長に就任。92年には加納総合病院院長を兼務。99年、同法人理事長に就任し、2009年から社会医療法人協和会理事長、15年からは一般社団法人日本医療法人協会会長を務める。

高齢者が急増していきませんが、地方にはすでに高齢者の増加が止まらなくなってしまった地域があるなど、都市部と地方で二極化が進み、地域格差はますます広がっていきます。各医療機関には、そうした地域の実情や将来像を見据えながら自院の役割や立ち位置を明確にし、地域全体で患者の疾病に対応していく体制づくりが求められます。一方で、医師の偏在

や看護師不足、介護職員の高い離職率など人材に関する問題も重要です。社会保障費が増え続けているなかで、2016年度の診療報酬はマイナス改定が予想されていますが、医療従事者の人件費に関わってくる「本体」部分は重視していただきたいと願っています。現在、厚生労働省や中央社会保険医療協議会（中医協）の検討会等で調剤薬局について

議論されていますが、院内処方と院外処方の薬代の格差は解消すべきですし、後発医薬品も原価を考へればもっと安くできるはずですが、病院経営を圧迫している控除対象外消費税（損税）についても同様で、見直しが必要となるでしょう。診療報酬体系や医療制度において是正すべき点には正し、医療の現場が本当に必要としている部分にはしっかりと財源を確保して、現場で働く職員が誇りややりがいを持って働ける環境を守っていかねればいけません。

会員3000人の知恵を結集し、病院経営の質を高めてほしい

私は戦後誕生した医療法人制度が日本の医療を世界一にしたと考えています。全国の病院数の8割、病床数の7割、救急搬送数の6割は民間の医療機関が担っており、世界的に見ても日本ほど民間の医療機関が医療を支えている国はありません。医療法人制度の大きな特徴の一つは「非営利性」にあります。株

式会社に代表される一般企業と違い、医療法人は利益が出ても余剰金の配当が禁止されているため、その分を医療の再投資へ回してきました。その結果、WHOも認める世界最高水準の医療提供体制を築けたわけです。

医療法人制度のもう一つの特徴として、経営トップである理事長の要件を原則医師（歯科医師）としたことが挙げられます。これまではこの要件によって医療への資本注入等に効果は上がったかと思えますが、昨今、経営の効率化をさらに進めるにあたっては問題が出てきているようにも思います。

医師は患者の病気を治すプロであって、経営のプロではありません。もちろん、素晴らしい才能を持った医師もいますが、多くの医師は経営に関する専門的な教育を受けてきたわけでもなく、いまだに感覚的な経営をしている病院も少なくないのが実情です。本来、経営に携わる人材にはデータに基づく経営分析や財務、労務管理等

に関する知識も必要で、経営的な視点で病院全体を俯瞰し、課題を抽出・解決する能力が不可欠です。ぜひ医療経営士の皆様には、持てる力を発揮して、病院の大きな力になってほしいと思います。

私は地域包括ケアシステムの構築に向けては、「アライアンス」が必要だと考えています。アライアンスとは直訳すると「同盟・連合・提携」を意味しますが、病院や診療所、介護事業者、地区医師会等が緩やかな協力体制を敷くことで、患者・介護利用者データの一元共有化、物品の共同購入などを進め、地域医療・介護の質と効率性を高めることにつながります。

病院経営においても同じように情報の一円共有化が重要になるでしょう。全国に散らばる約3000人の医療経営士のネットワークを強固にし、知恵や成功事例を結集させることができれば、日本の病院経営の質と効率性はもっと向上していくはずです。皆様のこれからの活躍に大いに期待しています。

第17回「医療経営士3級」資格認定試験

医療経営士 資格認定試験 日程

試験日 2016年

2/21 (日)

- 受験エントリー期間
2015年 12月3日(木)~
2016年 1月12日(火)
- 受験料支払締切日
2016年 1月14日(木)

受験料	8,640円(税込) ※手数料別途
受験資格	年齢、学歴、国籍等の制約はありません
試験会場	札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・福岡・鹿児島・沖縄

- 出題科目
- ①医療経営史
 - ②日本の医療政策と地域医療システム
 - ③日本の医療関連法規
 - ④病院の仕組み/各種団体、学会の成り立ち
 - ⑤診療科目の歴史と医療技術の進歩
 - ⑥日本の医療関連サービス
 - ⑦患者と医療サービス
 - ⑧医療倫理と生命倫理
 - ⑨医療に関する最近の動向
- 団体受験
- ◇受験者10名を超える場合、団体としてまとめてお申し込みできます。
 - ◇一定の条件を満たした場合、認定会場制度をご利用できます。 ※審査があります

全国9都市で実施

同僚や知り合いの方にご紹介ください。

受験エントリーはホームページから

協会事務局からのお知らせ

日本医療経営実践協会主催
第4回「全国医療経営士実践研究大会」金沢大会が終了!

今年で4回目を迎える年に1度の医療経営士の祭典、第4回「全国医療経営士実践研究大会」金沢大会が、盛況のうちに無事に終了いたしました。

初日は気温が低く、あいにくの雨模様となりましたが、初日が終了する前には雨も上がり、東京では見られないきれいな色の虹が出て、大会の気分を盛り上げてくれました。2日目は初日と打って変わって快晴のイベント日和。参加者の熱意が、雨雲を吹き飛ばしてくれたに違いありません。

北陸新幹線が開業して最初の秋の観光シーズンですから、人手の多さは想像していましたが、真新しい金沢駅は人で溢れ(それも多国籍!)、駅前のタクシー乗り場やバス乗り場には長蛇の列ができていて、観光地として大きく飛躍したことを実感した次第です。

本大会のメインイベントである「演題発表」ですが、今回は過去最高の18名の医療経営士が登壇されました。1人あたり10分間という短時間の発表となりましたが、発表者の皆さんの事前準備のおかげで、ほぼスケジュール通りに進行できたことは、運営側にとっても大きな収穫となりました。

さて、今回の金沢大会では、医療機関外の方が多く発表されました。税理士、弁護士など多彩な顔ぶれで、「医療経営士」の層の厚さを物語っていたといえるでしょう。今後は金融機関の方や看護師の方にも、ぜひ発表していただきたいですね。

惜しむらくは、昨年の京都大会同様、駅と会場の往復のみの移動で、金沢らしい風景を見られなかったこと。懇親会での地酒の利き酒会など、地方色のある催しがあったことは救いです。もちろん、我々スタッフは飲めませんでしたけど……。

それではまた次号でお会いいたしましょう。

日本医療経営実践協会
NEWS & TOPICS

第3回医療経営士1級
第一次試験の合格者を発表

本年9月6日(日)に実施した第3回「医療経営士1級」資格認定試験第一次試験の合格者が10月30日(金)に発表され、

26名の受験者のうち11名が12月6日(日)の第二次試験へ進むことになりました。

第二次試験では、プレゼンテーション形式の「口頭試問」と、「医療経営士1級」として相応しい能力および人格を有しているかどうかを主な可否の基準とする「個人面接」が行われます。

来月1月期限の資格更新申請は12月14日(月)まで本協会では、2016

年1月に認定期間の満了を迎える会員の更新申請を受け付けています。更新対象者にはすでに封書で案内を送付しており、本年12月14日(月)までに更新に必要な書類の送付および更新手数料の入金を行っていただきます。

今回の更新の具体的なスケジュールは以下の通りです。

●更新書類締め切り
12月14日(月) 必着
●新規会員登録送

2016年1月中旬(前記期限内)に更新手続きを終了した会員の続きを終了した会員の

第17回3級試験のエントリーは12月3日(木)より受付開始

2016年2月21日(日)実施の第17回「医療経営士3級」資格認定試験の受験エントリーを、12月3日(木)より開始します。エントリーの締め切りは2016年1月12日(火)。受験料の入金締め切りは1月14日

(木)。受験料の入金をもって正式に受験申込が完了となります。受験者が複数人いる場合は団体受験申込みを受け付けており、受験料の請求、受験票、試験結果通知、合格証は受験者全員分を団体担当者へ送付します。

本協会会員の方にも、それぞれの所属先で試験内容に関する案内をお願いいたします。なお、次回2級試験は来年6月に実施します。

本協会会員の方にも、それぞれの所属先で試験内容に関する案内をお願いいたします。なお、次回2級試験は来年6月に実施します。

MMSニュースを活用して、「医療経営士」の認知度アップにご協力ください!

会員サービスの一環として毎月発行しているMMSニュースを活用して、「医療経営士」の認知度アップにご協力くださる会員様を募集しております。職場やお取引先へMMSニュースをお配りいただくことで、ご自身の活動のアピール資料としても、ご利用いただけると思います。

配布用のMMSニュースをご希望の方は下記のアドレスへ「MMSニュース希望」とタイトルをつけ、認定登録番号、お名前、御社名、所属部署、肩書き、送付先住所、電話番号、そして必要部数をご連絡ください(ご希望の部数につきましては、ご連絡をいただいた段階で調整させていただきます)。

皆様のご応募をお待ちしております!

お申し込み ▶ E-mail : info@jmmpa.jp

【求人案内】名古屋市立病院で経営戦略担当者を募集中!!

名古屋市立病院(東部医療センター・西部医療センター)では、平成28年4月1日採用で経営改善を推進する課長級職員を募集しています! 公立病院の経営に興味と意欲があり、溢れんばかりの情熱を注いでいただける方は、下記URLから募集要項をご覧ください。平成28年1月8日(金)までにご応募ください!!

詳細はこちら→

<http://www.city.nagoya.jp/byoin/page/0000075848.html>

当日参加も大歓迎!

一般社団法人日本医療経営実践協会 創立5周年記念シンポジウム
医療経営士の存在意義と新たな使命
—現場主導型マネジメントの確立を目指して—

平成27年12月7日(月)

プログラム(一部) ※プログラムは変更される場合がございます

参加料(会員および会員申請中)

シンポジウム 13:00~18:00 **無料**

懇親会 18:15~20:00 3,000円(税込)

会場:ステーションコンファレンス万世橋4F

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-25 JR神田万世橋ビル4F

【特別講演】

医療制度改革と地域包括ケア

唐澤 剛

(厚生労働省保険局保険局長)

【基調講演】

医療経営士が巻き起こすイノベーションと現場力
—2025年に向けた新たな挑戦と創造

川淵 孝一

(東京医科歯科大学大学院医療経済学分野教授 一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会理事)

医療経営士 5周年記念シンポジウム 検索